

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 2月号 令和6年2月1日

【目次】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
猫の適正飼養教室
「令和6年度大田区食品衛生監視指導計画(案)」に対する意見募集
- 4 特集
知っておきたい薬の知識

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

インフルエンザは第1週(1月1日から1月7日)5.62から第2週(1月8日から1月14日)8.67と増加しています。ほかに、感染性胃腸炎は第1週4.08から第2週11.85、新型コロナウイルス感染症は第1週2.71から第2週5.48と増加しています。

第1週目は報告数が少ないようにみえますが、年末から年始にかけての医療機関の休診が影響していると考えられるため、昨年末頃の報告数と2週目の報告数を比較すると減少か、横ばいの状況です。

【感染性胃腸炎】

感染性胃腸炎は微生物を原因とする胃腸炎の総称です。主な原因ウイルスは「ノロウイルス」「ロタウイルス」「アデノウイルス」などがあり、特に、ノロウイルスは秋から冬に流行します。主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛などがあります。子どもではおう吐、大人では下痢が多いです。特別な治療はないため、対処療法が行われます。乳幼児や高齢者は下痢等で脱水症状を生じることがありますので、早めに医療機関を受診することが大切です。

■予防のポイント(1)手洗い

トイレの後や、調理・食事の前に石けんと流水で十分に手を洗うことです。下痢を呈している方のオムツ交換後、手袋をしていても必ず手洗いを行いましょう。指先やつめの間・親指の周り・手首などは特に汚れが残りやすい箇所ですので、よく洗いましょう。すすぎは十分に行い、清潔なタオルかペーパータオルで拭きましょう。

■予防のポイント(2)調理

ノロウイルスによる食中毒を防ぐため、特に子どもや抵抗力の弱い方は、調理に注意する必要があります。加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱しましょう(カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部が85℃以上で、1分間以上の加熱が望ましいです)。また、調理者や調理器具からの二次汚染を予防するため、調理器具等は洗剤などを使用し十分に洗浄し、次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭くことでウイルスを失活化できます。なお、二枚貝などを調理する際には専用の調理器具(まな板、包丁等)を使用するか、調理器具を使用の度に洗浄する等して二次感染を予防しましょう。

■予防のポイント(3)消毒

ノロウイルスはアルコール消毒の効果が低いため、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使いましょう。環境消毒(トイレのドアノブや手すり等)には0.02%、おう吐物や便が付着した場合の処理には0.1%に希釈した消毒液を使用しましょう。具体的な方法はこちらをご覧ください。

○大田区「感染性胃腸炎(ノロウイルスを中心に)」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/noro.html

【インフルエンザ】

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる呼吸器感染症です。感染経路は、感染した人の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染、ウイルスの付着した手で、目・口・鼻を触ることによる接触感染です。

症状は38.0℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の症状が出現し、一般の風邪と同じような症状(のどの痛み、鼻水、咳等)もみられますが、一般の風邪よりも発症が比較的急速に現れます。特に、高齢の方や免疫力の低下している方は肺炎を伴う等、重症化することがあります。

予防のポイントは、こまめな手洗い・消毒、咳エチケットや必要時マスクの着用等基本的な感染防止対策です。重症化・肺炎予防として、うがいや口腔ケアも重要です。

○大田区「インフルエンザの予防方法」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/infuru_h1n1/yobouhouhou.html

【新型コロナウイルス感染症】

主な感染経路は、飛まつ感染と接触感染です。ウイルスを含む飛沫が粘膜などに付着することで感染します。感染を疑う症状は、発熱、頭痛、体のだるさ、咳などが挙げられます。ひき続き、基本的な感染対策防止をお願いいたします。

どんなに気を付けていても感染してしまうことがありますので、り患に備え市販薬などの準備をすることも大切です。症状が辛い時は早めに医療機関に相談・受診をしましょう。

新型コロナワクチン接種が無料で受けられる期間は令和6年3月31日までです。接種を希望される場合はお早めにご検討ください。

※令和5年秋開始接種は、1人1回限り受けることができます。

○新型コロナウイルス感染症のワクチン接種

https://www.city.ota.tokyo.jp/cyuumokujoho/infection/covid19_wakuchin/index.html

【劇症型溶血性レンサ球菌感染症】

新型コロナウイルス感染症流行後の2020年から2022年の報告数は減少していましたが、2023年以降、報告数が増加しています。

この疾患はレンサ球菌による感染症で、通常は感染しても無症候のことも多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の感染症にとどまります。しかし、通常は細菌が存在しない組織（血液、肺など）にレンサ球菌が侵入すると、急激に症状が進行し重症化の恐れがあります。

感染経路は上気道（鼻からのど）の感染や創傷感染等がありますが、感染経路が不明な場合も多くあります。

初期の症状としては、発熱や悪寒などの風邪のような症状、腕や脚の痛みや腫れ、傷口が赤くなることもあります。発病から病状が急激、かつ劇的に進行することもあります。重症化のリスクを下げるためには、早期に治療を開始することが重要です。

予防のポイントは、手洗いやうがい等の一般的な感染症予防のほか、傷がある場合には傷口を清潔に保ち、赤み、腫れ、痛み、発熱などの感染の兆候がみられた場合には、医療機関へ早めの受診をしましょう。

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和5年12月に1件（患者3名）の食中毒が発生しました。食中毒の病因物質はカンピロバクターでした。

■東京都の食中毒発生状況

令和5年12月に、8件（患者90名）の食中毒が発生しました（令和6年1月10日現在）。病因物質の内訳はアニサキス2件（患者2名）、カンピロバクター2件（患者8名）、ノロウイルス3件（患者70名）、ウエルシュ1件（患者10名）でした。原因施設はウエルシュでは集団給食（要許可）でした。それ以外の原因施設はすべて飲食店（一般）でした。

○東京都「都内の食中毒発生状況（速報値）」

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/tyuudoku/r5_sokuhou.html

3 トピックス

■猫の適正飼養教室

上智大学准教授「齋藤慈子」先生をお招きして「猫の適正飼養教室」を開催します。

猫を飼っている方も、これから猫を飼おうと考えている方も、みなさん振ってご参加ください。

【日程】 令和6年2月18日（日曜日）午後3時から午後4時30分まで

【会場】 大田区産業プラザPiO 4階コンベンションホール（大田区南蒲田一丁目20番20号）

【テーマ】 ネコの気持ちがわかりにくい理由：ネコの歴史とコミュニケーション能力

【定員】 150名程度 先着順（当日、満員になった場合はお断りすることがありますのであらかじめご了承ください。）

【費用】 無料

【申込方法】 不要 当日直接会場へお越しください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

○ 大田区ホームページ 「猫の適正飼養教室」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/pet_dog_cat/cat-breeding-lecture.html

■「令和6年度大田区食品衛生監視指導計画(案)」に対する意見募集

～皆さまのご意見を計画に反映させませんか～

区では、区民の皆さまの日々の「食の安全・安心」を守るため、「令和6年度大田区食品衛生監視指導計画」を策定します。つきましては、本計画(案)について、皆さまからのご意見を募集します。

1 募集期間

令和6年2月1日（木）から2月21日（水）まで

2 本計画(案)の閲覧場所

区ホームページ、区政情報コーナー（区役所本庁舎2階）、生活衛生課（大森地域庁舎6階）

3 ご意見の提出方法

「意見提出用紙」に必要事項を明記し、郵送、ファックス、電子メール、窓口へ直接持参

のいずれかの方法によりご提出ください。

○大田区「令和6年度大田区食品衛生監視指導計画(案)に対する意見募集」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/keikaku/pubcome_syokuhin-eisei-shido.html

4 【特集】知っておきたい薬の知識

■(1)地域連携薬局を知っていますか？

地域連携薬局とは、医療機関や他の薬局と連携し、医療機関と患者の間をつなぐ役割を担う薬局のことです。そのため、外来受診時だけではなく、在宅医療への対応や入退院時を含め、他の医療提供施設との服薬情報の一元的・継続的な情報連携を行い、病気になった後も住み慣れた街で安心して治療を続けられるようにお手伝いする薬局です。

薬局の構造設備基準や地域の医療機関等との連携できる体制など、法令で規定する条件を満たした薬局が、知事の認定を受けて地域連携薬局を称することができます。

地域連携薬局の認定を受けた薬局は認定書が薬局内に掲示されていますが、東京都薬局機能情報提供システム「[t-薬局いんふお](#)」でも検索することができます。

<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/>

■(2)健康サポート薬局

地域連携薬局が治療時のサポートを行うのに対して、健康サポート薬局は病気にならないためのお手伝いをしている薬局です。セルフメディケーション等のお薬の相談だけではなく、皆様の日々の健康維持のために、様々な取り組みを行っています。

一定の要件を満たした薬局が保健所への届け出を行うことで、健康サポート薬局を名乗ることができます。

大田区内では18施設の健康サポート薬局があり、栄養相談会や健康測定会等各種健康イベントを開催して、地域の皆様の健康保持に関する活動を行っています。

健康サポート薬局が行っている取り組みは大田区ホームページで紹介しています。セルフメディケーションの取り組みの一環として活用してみてください。

大田区内健康サポート薬局の取り組み紹介

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kenko_dukuri/other_joho/ousuri/kenkou-support-yakkyoku.html

★「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行っている手洗いが正しくできているかを目で見えて確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、大田区保健所生活衛生課(5764-0698)にお問い合わせください。

詳しくはこちらへ↓大田区のホームページ

「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/tearai-kit.html>

」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

登録情報の変更・配信停止は以下 URL からお願いします。

<http://hokenjyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、2月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 水野